

東京都立 多摩総合医療センター

医療連携の一層の推進を ～就任のごあいさつとともに～

事務局長 山浦 拓也



この度、4月1日付けの人事異動により、事務局長に就任いたしました山浦と申します。近隣医師会の先生方を始め、医療関係機関の皆様方には、地域医療とりわけ医療連携につきまして、日頃より、ご理解、ご協力を賜りまして、誠に有難うございます。厚く御礼申し上げます。

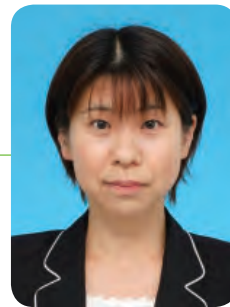
前職では私は、東京から千キロ程離れた太平洋上に位置する小笠原の島々で主に農水産業の振興に係わる業務に従事しておりました。本土へのアクセスが週に一便、所要24時間の船便に限られる超遠隔離島である小笠原は、産業の振興はもとより、島民の日々の生活にも様々な制約が存在しています。このため小笠原では、都、村や国などの行政機関そして民間の事業者の方々と共に、組織や立場の違いを越えて連携・協力し合いながら、様々な施策が行われています。前職とは施策の分野は異なりますが、地域におけるクオリティ高い医療サービスの展開のためには、医療に係わる近隣の皆様方との連携・協力は欠かせないものと考えます。今後、懸命に勉強させていただきますので、皆様におかれましては、ご指導ご鞭撻の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、平成22年3月に開設した多摩総合医療センターは、皆様方のお蔭をもちまして、今年度末に開設から10周年という大きな節目を迎えることとなります。この間、救急医療、がん医療、周産期医療を柱としつつ、地域の医療機関の皆様方のご理解とご協力を頂きながら、当センターが兼ね備える設備・機能を活用し、中核的な医療拠点としての役割を担って参りました。その一方で、この間、我が国の人口高齢化は一段と進行し、高度な医療を必要とする疾患や合併症など複数の疾病を併せ持つケースが増加するほか、より高度で低侵襲な治療への需要が高まるなど、当センターを取り巻く情勢は変化しています。

こうした環境変化の中で当センターとしての役割・使命を果たしていくためには、センター自らが医療技術の進歩やこの変化を的確にとらえて対応し、ハード・ソフトに渡る不断の体制整備を図るとともに、地域の医療機関の皆様方との機能分化・連携関係を一層強化させていただくことが肝要だと考えます。当センターの運営理念にも掲げております「いつでも、誰にでも、安全で質の高い患者中心のあたたかい医療を提供する」ために、今後とも、地域の医療機関の皆様方のご意見を賜りながら、皆様方との連携を一層密にすることにより、より良い、そして心が通い合う医療機関相互の連携体制を構築して、地域に貢献して参りたいと存じます。

皆様方のより一層のご支援・ご協力を賜りますようお願いをさせていただきます。就任のご挨拶とさせていただきます。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。





医事課長 中林 了子

平成31年4月1日付の人事異動により、山口課長の後任として医事課長を拝命いたしました中林と申します。平素より、近隣医師会の先生方をはじめ、医療関係機関の皆様には、当院の医療連携にご理解、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

多摩総合医療センターは今年度末に開設10周年の節目を迎えます。皆様からのご支援、ご協力のもと、これまでも地域の医療機関との連携を深めさせていただいてきたところですが、今後も、広域的な地域連携ネットワークを構築することなどにより、更なる連携を図ることで、多摩地域の医療を担う高度急性期病院としての役割を一層果たしていきたいと思っております。

医事課といたしましても、皆様とのコミュニケーションの「潤滑油」となれるよう、精一杯努めてまいりますので、何卒ご指導、ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。

最後になりましたが、皆様の益々のご発展とご健勝を心よりお祈り申し上げ、挨拶とさせていただきます。

都立多摩総合医療センター 人事異動

【昇任】平成31年4月1日付

眼科部長	大野 明子
耳鼻咽喉科部長	中屋 宗雄
内科医長	櫻田 麻耶
産婦人科医長	本多 泉
リウマチ膠原病科医長	三好 雄二

【採用】平成31年4月1日付

消化器内科医員	横田 拓也
呼吸器科医員	小林 健
呼吸器科医員	田中 望未
循環器科医員	宮部 倫典
精神神経科医員	中川 吉丈
外科医員	高橋 誠
外科医員	仁田 淳
外科医員	中田 晴夏
脳神経外科医員	藤本 斎
脳神経外科医員	大垣 福太郎
産婦人科医員	栗山 真侑
産婦人科医員	黒坂 徳子
診療放射線科医員	高川 佳明
救急診療科医員	三島 就子
救命救急センター医員	光銭 大裕
救命救急センター医員	松吉 健夫
救命救急センター医員	高慶 承史
麻酔科医員	庄司 創馬

【転入】平成31年4月1日付

消化器内科医員	三浦 夏希
---------	-------

【院内異動】平成31年4月1日付

リウマチ膠原病科医員	喜瀬 高庸
------------	-------

【転出】平成31年4月1日付

内科(緩和ケア)*	芝 祐信
リウマチ膠原病科	杉井 章二
麻酔科	福島 達郎
神経内科	林 健太郎

【退職】平成31年3月31日付

診療放射線科部長	喜多 みどり
消化器内科医員	脇岡 悠子
消化器内科医員	藤木 純子
呼吸器科医員	竹内 孝夫
循環器科医員	片岡 翔平
精神神経科医員	山口 順嗣
外科医員	榊原 淳太
外科医員	大片 慎也
泌尿器科医員	吉崎 宇蘭
脳神経外科医員	鈴木 良介
脳神経外科医員	井林 賢志
救命救急センター医員	笠原 進
救命救急センター医員	濱口 純



耳鼻咽喉科・頭頸部外科のご紹介

耳鼻咽喉科・頭頸部外科
部長 中屋 宗雄



近隣の医師会、医療機関の先生方には、日頃より大変お世話になっており、深く感謝申し上げます。当科は、スタッフ10名(耳鼻咽喉科専門医は6名)で診療にあたっており、東京都内の大学病院を除く一般病院では唯一の耳鼻咽喉科専門医の基幹病院です。また、隣接する小児総合医療センターの耳鼻いんこう科への外来・手術の診療支援も行っております。

外来は月曜から土曜日(土曜日は新患のみ)の午前中に診療を行っています。一般外来の新患予約は数日で取れるように調整していますが、緊急性のある患者さんは直接お電話いただきましたら、当日対応いたします。また、毎週水曜日は「神経耳科外来」として、神経病院神経耳科の内藤医長により、めまいについて専門的な診療を行なっていますが、紹介状をお願いします。

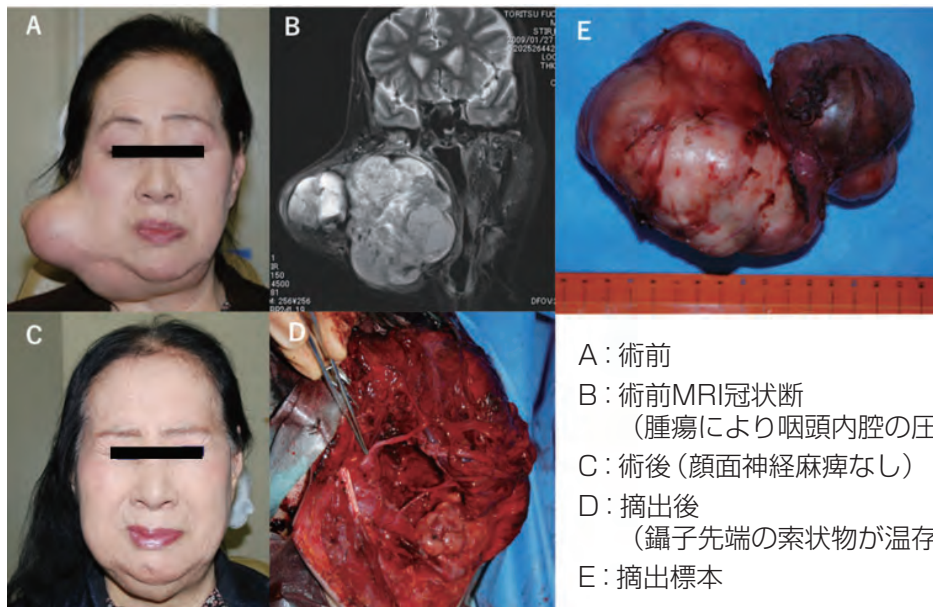
当科では「耳・鼻・ノド」の一般的な耳鼻科疾患に加え、顔や首を含む広い範囲の病気を扱っております。中耳炎などに顕微鏡および内視鏡を用いた中耳手術、副鼻腔炎などに内視鏡副鼻腔手術は、新しい医療機器を用い低侵襲な手術を行っています。最近増加している頭頸部がん(舌癌などの口腔癌・頸部食道癌・甲状腺癌を含む)は、病気の進行と部位によって手術・放射線・化学療法・免疫療法を組み合わせた治療が必要となります。そのため、他科(形成外科・外科・呼吸器外科・口腔外科・放射線科など)と連携しながら、患者さんのQOLを重視した治療を行います。当科は頭頸部がん専門医認定施設であり、多くの頭頸部がん患者の治療を行っています。そして、内分泌・甲状腺外科専門医認定施設でもあり、甲状腺腫瘍やバセドウ病の手術治療も数多く行っております。また、重症身障者や気管切開後の患者さんの誤嚥性肺炎に対する誤嚥防止手術も行っており、日本気管食道科学会専門医認定施設です。薬物療法で治療困難なアレルギー性鼻炎や好酸球性副鼻腔炎に対して内視鏡鼻副鼻腔手術を行っており、日本アレルギー学会専門医認定施設となっております。

毎年10月に耳鼻科開業医の先生向けに、耳鼻科領域講習の単位取得可能な病診連携講習会を当院内で開催しておりますので、ご参加いただければ幸いです。

近隣の先生方よりご紹介いただきました患者さんの検査や治療がおわりましたら、先生方のもとで通院をお願いしております。経過観察中に何か問題などありましたら直接ご連絡をいただければ対応いたします。

今後も、多摩地域の耳鼻科診療の中心的な役割を果たしてまいりたいと思いますので、引き続き先生方のご支援をお願いいたします。

巨大耳下腺腫瘍の手術症例



- A: 術前
- B: 術前MRI冠状断
(腫瘍により咽頭内腔の圧排を認める)
- C: 術後(顔面神経麻痺なし)
- D: 摘出後
(鑷子先端の索状物が温存された顔面神経)
- E: 摘出標本



公開CPCのご案内

顔の見える医療連携の更なる推進を図るため、これまで院内で行なっていたCPC（臨床病理検討会）に地域医療機関の先生方にもご参加いただきたく、ご案内させていただきます。是非ご参加くださいませよう、よろしくお願い申し上げます。

毎月第3木曜日 午後6時～午後7時 4階401会議室

（都合により開催日を変更する場合があります。）

各種講習会・勉強会のご案内（医療従事者向け）



医療連携臨床懇話会

令和元年6月20日（木）午後7時～午後8時
都立多摩総合医療センター 4階401会議室

- 「末期腎不全の治療選択 ～血液透析以外の治療選択と透析非導入の倫理的問題～」
腎臓内科 西尾部長

各種講習会・勉強会のご案内（患者さん向け）



糖尿病講習会

会場：都立多摩総合医療センター講堂フォレスト
日時：毎月第3水曜日 午後2時～午後4時

※参加無料、
事前予約不要です

- 「糖尿病網膜症」「点眼薬を正しく使いましょう」「外食・宅配等の利用方法」
日時：令和元年6月19日（水）
- 「糖尿病腎症」「透析療法の実際」「腎症予防にむけての食事」
日時：令和元年7月17日（水）
- 「糖尿病のセルフコントロール」「糖尿病内服薬の飲み方」「糖尿病手帳の使い方」
日時：令和元年8月14日（水）
- 「糖尿病の内服薬」「糖尿病の運動療法」「嗜好品等について」
日時：令和元年9月11日（水）

※詳細はホームページをご覧ください。

当院は原則として、**紹介予約制**です。外来及びCT、MRI
検査は必ず予約を取り、紹介状をお願い致します。

ご意見、ご投稿、お問い合わせは
医療連携担当（内線2171）まで

<電話予約センター>

月～土 受付時間 午前9:00～午後5:00

TEL：042-323-9200

<FAXによる診療予約>

月～土 受付時間 午前9:00～午後5:00

FAX：042-323-9205

緊急の場合…必ず事前にご連絡ください

代表電話：042-323-5111から、①平日の午前9時～午後5時は「〇〇科責任医師」、②午後5時以降、土曜日、
日曜日及び祝祭日は「〇〇科の救急担当医」とお申し付けください。

連携医ホットライン：042-312-9119 月～土 9:00～20:00（祝日年末年始は除く）

連携医の先生方専用の当院医師への直通電話です。当日の緊急診療依頼にぜひご利用ください。

※一部の診療科では、夜間・休日は専門医がおりませんので診療できない場合があります。

※受診が決まった場合は、患者さんに紹介状（診療情報提供書）をお渡しください。

東京都立多摩総合医療センター 〒183-8524 東京都府中市武蔵台2-8-29
TEL 042-323-5111（代表）

